

天童 市議会だより

2016
11.1
No.154
TENDO



9月定例会

- 2 一般質問 11人
- 9 予算特別委員会 平成28年度補正予算
- 10 決算特別委員会 平成27年度決算
- 13 提出された議案とその結果
- 14 特集 議会報告・意見交換会の検討結果
- 15 市民の声・12月定例会の日程（予定）

▲9月に行われた蔵増レクリエーション大会では、天童三中の中学生ボランティアが大活躍。模擬店の出店や大会進行係、借り物競争の運営等を担ってくれました。



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>



市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、9月6日・7日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

子育て支援をはじめ、鳥獣害対策、選挙投票率の向上等について、市長や選挙管理委員会委員長等の見解を求めました。

※議員の原稿をそのまま掲載しています。

※議会でもクールビズを実施しております（5月1日から9月30日まで）。

質問者と質問事項（☆印は会派名）

★日本共産党大童市議団

石垣昭一 議員

- * 子育て支援施策の拡充を求めて
- * 「給付型」奨学金の創設について

伊藤和子 議員

- * 山形県の引きこもり調査の実態と本市の引きこもり対策について
- * 運動部の部活動の現状について

★清新会

熊澤光史 議員

- * 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の本市の取り組みについて

笹原隆義 議員

- * 地方創生と産業・コミュニティの維持について

遠藤喜昭 議員

- * 鳥獣害対策支援について
- * ふるさと納税の返礼品について

遠藤敬知 議員

- * 税外負担のあり方について

★政和会

三宅和広 議員

- * 本市の婚活支援事業について
- * 本市の林業振興事業について

渡辺博司 議員

- * スポーツ関連について
- * 公園の整備について

佐藤俊弥 議員

- * 介護について
- * わくわくランドについて

結城義巳 議員

- * 土地利用の規制について

松田光也 議員

- * 本市選挙投票率向上の取り組みについて
- * 本市の小売店や商店街の活性化について
- * インバウンド事業に絡めた消費税免税店の推進事業について

9 月 定 例 会

審 議 日 程

平成28年度第3回市議会定例会（9月定例会）は、9月2日から9月21日までの20日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の人事案件1件について採決が行われました。そのほか、平成27年度決算議案11件、平成28年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件と、契約議案等2件及び請願1件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議に採決が行われました。

また、9月21日に予算議案等2件及び委員会提出議案1件が追加提出され、採決が行われました。（採決結果は13ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
9. 2 (金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会、決算特別委員会の設置など）
9. 6 (火) 9. 7 (水)	本会議（市政に関する一般質問）
9. 8 (木)	総務教育常任委員会（付託案件の審査）
9. 9 (金)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
9. 12 (月) 9. 13 (火) 9. 14 (水)	決算特別委員会（付託案件の審査）
9. 15 (木)	決算特別委員会（付託案件の審査、討論、表決）
9. 16 (金)	予算特別委員会（付託案件の審査、討論、表決）
9. 21 (水)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

子どもの貧困対策の実態把握と支援を

石垣 昭一 議員



子どもの6人に1人は貧困状態に置かれ、一人親家庭では2人に1人が貧困状態にあるのは重大な社会問題である。実

入学準備金の早めの支給を

学用品購入など子育て世帯の支出がかさむ時期に配慮して、入学準備金の立て替えをしなくて済むよう、入学前に支給することについて考えを伺いたい。

山本市長 山形県が今年3月に策定した子どもの貧困対策推進計画において、教育を応援、子育て・生活を応援、相談、支援体制の整備の4つの柱にまとめ、総合的に進めることとしている。

貧困世帯の状況が見えにくくなっている中で、現在、市

としては、経済的に苦しい状況にある子育て世帯の就業や生活の状況等を、現場・窓口での丁寧な対応や関係機関、民生児童委員との連携を通して調査、把握、助言を行っているところである。

引き続き所管部課、教育委員会等における適切な役割分担のもと、県を始めとする関係団体とも連携しながら、個々の子育て世帯に対する、

相澤教育長 本市では、経済的理由によって義務教育への就学が困難であると認められる児童・生徒を必要保護と認定し、その保護者に対して、入学学用品や通学用品等の購入に必要な費用について就学援助を行っている。

この制度は、学校教育法第19条の規定により、援助対象者を学齢児童または学齢生徒としている。必要保護認定の申請には、世帯の収入額や実際の生活面での困窮度を勘案するために、民生児童委員による所見と所属学校長の意見を付することが義務づけられている。従って、就学支援の入学前支給は難しい。

引きこもりの現状と対策促進のために

伊藤 和子 議員



県の引きこもり調査では、村山地域の該当者が693人、男性6割、女性2割。40歳以上の中高年層が45割を占めており、引きこもり期間も3年以上が3分の2、5年以上が半数を超えて、高齢化・長期化傾向である。特に親が高齢世代で、収入も減っており、先のことを考えると心配、不安だとの声が聞かれる。

秋田県藤里町では社会福祉協議会が1年半かけて訪問調査し、拠点施設を開設して、就労支援事業に取り組んでいる。目的を持って調査し、受け皿と解決方法をセツトにし、生涯現役で働ける場をつくりだし、引きこもり解消を図っている。本市でもこういう取り組みが必要ではないか。

山本市長 県が行った調査では、市町村ごとの人数は公表されていないが、5年以上引きこもっている方が半数を超える状況にあることから、早い段階からの関わりと継続的な支援が必要と考える。引きこもりの原因

がわからないのが全

体の3割と最も多い。市としては、実態把握が重要と考える。教育委員会や民生児童委員等との情報の共有化を図りながら実態把握に努めたい。

秋田の藤里方式のような取り組みは、人口規模や社会環境の違いから難しいと考える。

運動部の部活動 身体に無理はないか

放課後の部活動のほか、朝練、夜練、土日の練習試合など、生徒の体に負荷を与える練習日程になっていないか。

部活動の実態調査をどう行い、どう指導しているか。また、運動部顧問の業務負担軽減策を講じるべきではないか。

相澤教育長 原則として、毎週平日一日と日曜日、テスト前や教職員の会議日を休養日とし、生徒の心身の健康に配慮している。部活動顧問の業務の負担軽減策として、土曜日の練習を原則4時間以内にし、複数顧問制にするなどしている。県中学校長会部活動に関する申し合わせ事項により休みを確保している。

本市独自のスポーツ振興とオリンピック 選手の輩出を目指して

熊澤光 議員



オリンピックや全国大会等の出場を目指している多くの選手が競技に集中して大会に臨むためにも、費用等の負担軽減策を打ち出す必要があると考える。本市独自の助成や取り組みについて、市長の考えを伺いたい。

山本市長 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成は、大きな課題である。国際大会などで活躍できるトップアスリートを育成するには、ジュニア期からの計画的な育成が重要であると考えている。現在、天童市スポーツ推進計画の策定を進めており、トップアスリートの育成を重要課題として盛り込み、国や県はもちろん、関係団体との連携をさらに強固にしなから対応していきたい。また、近年全国大会で優勝する選手が増えており、そういった選手を順調に伸ばしていくことも行政の役割だと思っている。

今回のホストタウン及びキャンプ地誘致に向けて、市民と相手国であるトルクメニスタンとの大会前・中・後の交流事業を考えているのか。

小川市民部長 現在計画している交流内容として、スポーツ、文化、経済の3つの分野で交流を図っていきたい。1つ目のスポーツ交流では、来年度以降、日本人のオリンピック指導を考慮しており、2020年には大会参加選手の応援を考えている。2つ目の文化交流では、市民を対象とした相手国の文化等の学習会を実施する予定をしている。3つ目の経済交流では、農業分野での情報交換や本市の観光イベント等へ、相手国関係者を招待したいと考えている。

また、市民参加型の実行委員会の設立と、事前キャンプに関わる市民ボランティアを養成したいと考えている。時期としては、来年度以降、大会の事業計画等が、決まった段階で実施したいと考えている。

地方創生と産業・コミュニティ維持に 向けて

笹原隆 議員



内閣府の統計によると、山形県は東北で秋田県に次いで2番目、全国でも7番目の高齢化率である。地方は高齢者が増え、生産年齢人口が減少し少子高齢化に拍車がかかっている。結果として人口減少、税収減、社会保障費増となり、自治体が財政難に陥ってしまう。本市は危機感を持って地方創生に取り組んでいるが、もともと国外に向けたPRをすべきではないか。4年後のオリンピック・パラリンピックを控え、海外に本市をもっと知ってもらい、海外との距離を縮める方策を進めるべきである。農業では技術や知識を海外に発信し、本市の良さを知ってもらう機会を作るべき。それが人材確保の手助けになるだろう。そのためにも外国の方が本市に滞留しやすい方策を打ち出すべきではないか。例えば生活のしやすいさのPR、インバウンドの更なる準備をしようか。

本市が多く集まる国際都市として一歩を踏

み出すのも一考ではないだろうか。市長の考えを伺いたい。

山本市長 天童温泉協同組合のインバウンド商談会への支援、海外への情報発信を行っている。また仙台空港の民営化に伴い、関係自治体及び観光関係団体と連携して受け入れ体制の準備に努めている。農業では特産フルーツの海外プロモーションを行い将来の販路拡大に取り組んでいる。外国人を含む雇用対策については山形労働局と締結した雇用対策協定に基づき連携しながら進めていく。

本市の友好都市へのホームステイや経済交流、技能実習生の受け入れで地元の産業振興に役立ってもらえるよう有益性を高まるようにしてはどうか。

山本市長 国際交流協会、商工会議所、企業などを通じて様々なアプローチをすることが必要である。行政側も主体的に行動をしていき、今以上に友好的で濃密な関係が築けるよう進めていく必要がある。

住民が安心して暮らせるための 鳥獣害対策を

遠藤 喜昭 議員



今年、県内各地で春先からクマの出没が相次ぎ、秋田県では4名の方が犠牲になる痛ましい事故も起きている。ま

た、本市ではサルやイノシシによる農作物等の対策として電気柵設置の9割補助を実施しているが、被害額は年間約6000万円程度で、ほぼ横ばいとなっている。津山地区内では、サルの群れが小学校近くの道路や住宅地で目撃されるようになり、地域住民がサルに威嚇されたりした事例も発生している。今後、人的な被害が懸念される中、増え続けているクマ、サル、イノシシを追い払うのではなく、捕獲することが、唯一の対策と思うが、市長はどのような対策を講じていくのか。

山本市長 本市では、天童猟友会の会員を主体とした天童市鳥獣被害対策実施隊を組織して、鳥獣被害防止対策の重要な柱となる追払いや駆除を実施している。これらの対策を強化する上で、今年7月に実施した県に対する天童市

重要事業要望の中に、鳥獣の追払いや電気柵の設置、駆除による個体数管理等の被害防止対策への積極的な支援を要望した。

人材確保対策を

将来に向けて、鳥獣害対策を担う人材を、安定して確保して行く上での環境整備が必要ではないか。また、近隣の自治体と連携を図りながら、対策を講じていく必要があるのではないか。

阿部経済部長 天童猟友会会員は本年4月1日現在58名で、その内33名が65歳以上と高齢化が進んでいることから、駆除等の従事者である会員の確保が今後の課題と考えている。現時点で3名の新規狩猟免許取得者に対し補助を行った。捕獲報奨金の見直しは今後検討していく。また、更なる人材確保と広域連携については、他市や猟友会の意向を調査していく。

市はなぜ問題のある寄附を黙認したのか

遠藤 敬知 議員



市立高掬公民館の建設用地に係る寄附金問題は、多くの地区民が疑念を抱き、地域の混乱を招いた。建設用地代金は、高掬の二つの財産区で1500万円負担するにもかかわらず、なぜ新たに寄附を集めるのかという問題。そして寄附金集めを市の嘱託員の町内会長や公民館分館長が担当し、全戸に配布するという半強制的とも受け取られる問題。市がその内容を知らなかったら今日まで黙認してきた問題。更に宙に浮いた寄附金の問題などもあり、市の責任は重大だ。

住民に対して税金以外のいかなる負担も求めてはならないという地方財政法に抵触するものであり、市の責任において早急に地区民の疑念を払拭し、混乱に終止符を打って、地域融和を図るよう指導すべきと思うがどうか。

相澤教育長 協力金を募集する場合、金額等を明示して協力金を割り当てたり、住民から疑義を持たれたりすることのな

いように、建設委員長である市立公民館長に文書で通知するなどの対応を行った。しかし、指導の時期や職員の対応など、反省すべき点があったと考えている。

山本市長 市や教育委員会の関与はないと思っており、高掬地区の皆さんの自発的な行為であるという認識を持っている。疑義を持たれないための通知文書については、時期的に大変問題があり、反省点は十分にある。地域の方々にこのような混乱を招いたことは大変残念であり、誠に申し訳なく、私の不徳の致すところである。

今後十分にこのことを踏まえて、様々な事業を進めていきたい。寄附金については、建設検討委員会の賢明な判断を願いたい。もし必要だとすれば、私も検討委員会に行つて私の思いを話したいと思っている。

地方財政法第四条の5(抜粋)
地方公共団体は住民に対し、直接であるの間接であることを問わず、寄附金を強制的に徴収するようなことをしてはならない。

婚活支援事業をより活発に

三宅和広 議員



山形県における未婚率等の状況

		配偶者あり	未婚	死別・離別
30～34歳	男性	54.0	44.7	1.2
	女性	63.4	31.7	4.9
35～39歳	男性	62.7	34.0	3.4
	女性	79.4	14.8	5.7
40～44歳	男性	65.6	29.5	4.9
	女性	72.6	17.2	10.2
45～49歳	男性	68.3	24.0	7.7
	女性	77.9	9.1	13.0
50～54歳	男性	72.2	20.4	7.4
	女性	77.3	7.0	15.6

(出典：平成27年国勢調査抽出速報集計) (単位：%)

45～54歳の結婚している割合は、男性で約70%、女性で約77%にとどまる

武田総務部長 現在、婚活イベントは婚活支援団体の方々から開催していただいている。また、むらやま広域婚活事業実行委員会でも年に3回、婚活イベントを開催している。そのため、現段階では

「婚活を支援する会」のようなものに、市民からメンバーを募り、市民が中心となり運営する組織を作ってはどうか。そうした組織で婚活パーティーなどを開催していただければ、さらに事業の活性化が図られると思うが、考えを伺いたい。

本市では婚活セミナーの開催など様々な婚活支援事業を実施している。今後、さらに事業を充実させるために、例えば

間伐材を活用しエネルギーの地産地消を

最上町では、間伐材を燃料として沸かしたお湯を町立病院などの冷暖房や給湯に使っている。間伐材を使うことで森林整備が進み、林業の活性化にもつながっている。本市でも間伐材を利用したエネルギーの地産地消を進めることは可能と思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 間伐などの森林整備は、国・県からの助成を受けて実施することになる。この助成を受けるためには森林組合等が森林経営計画を作成する必要があるため、森林組合等の役割が非常に重要であると認識している。今後の林業振興策については、森林組合等と話し合いながら、どういう振興策が適しているかを調査研究していく必要があると考える。

スポーツ振興と施設の整備策は

渡辺博司 議員



選手育成強化及び指導者養成、市民の生涯スポーツ普及を目指すことが必要である。市長が掲げる施策を伺いたい。また、健康増進の場所として、スポーツセンターの施設増設や駐車場拡大等について、考えを伺いたい。

来年、南東北インターハイの開会式が山形県総合運動公園で開催され、経済効果も見込まれるが、市民の関心を高めるための施策を伺いたい。

山本市長 天童市スポーツ推進計画の策定を進めている。各団体の意見を聞きながら、選手の育成強化、生涯スポーツの振興について取り組むべき施策をまとめていく。

スポーツセンターの施設の増設や駐車場の拡大については、当面は山形県総合運動公園の設置のメリットを優先し、スポーツセンターの拡大等は考えていない。ただし、計画的な施設の修繕を図っていく。

小川市民部長 南東北インターハイについては、市民の協力を得るためにもPR

活動を実施する。



平成29年度 全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)

公園整備により、よりよい住環境に

公園整備が地区によつては遅れている。市民の住環境をよりよくするために、公園の修繕、新設が必要であると考える。公園整備をすることにより、子育て支援や、空き地・空き家対策にも効果があると考えるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 周辺集落部の公園整備を進める基本方針を策定しており、今年度は山元地区に公園を設置すべく測量設計を実施している。また、高瀬地区のあかつき公園と荒谷地区の小才勝東公園のトイレ改修を予定している。

大石建設部長 市単独予算に加え、国からの補助金を活用しながら、他地区の公園についても順次改修を行う。

介護支援日本一を目指しては

佐藤 俊 弥 議員



現在本市で取り組んでいる介護予防事業は、生活機能低下が起きないよう数々の予防プログラムを提案され、積極的な

市民サービスに取り組んでいるが、寝たきりゼロを目指し、健康で人並みの生活を続けるために、今後どのような考えなのか伺いたい。

山本市長 高齢化が進む中、

住み慣れた地域で継続的に安心して生活できるよう、介護サービスの充実や介護予防に係る支援が重要と考えている。本市においても高齢者に対し、様々な生活支援事業の充実を図り、独自の取り組みとして「健康てんどう元氣塾」などの介護予防事業や高齢者軽度生活援助事業などを実施しており、今後も地域包括ケアシステムの早期確立を目指していく。

近年、介護従事者の不足や処遇が全国的に問題となっており。課題解決に向けて、若い人に対して介護職への理解を深めることも重要と考え、中学校・高等学校が職場体験

などを行っており、将来の就労に繋がるよう支援していく。また介護福祉士の資格取得支援制度については、現時点では、県が設けている制度の周知に努めていく。介護相談統合窓口としては、市内2か所に地域包括支援センターを設置し、様々な支援を行っている。多種多様な介護ニーズの対応に向けて体制の充実に努めていく。

噴水広場に日よけ対策を

わくわくランドの噴水広場

は、日陰の場所が野外ステーションなどを増設してはどうか。

山本市長 市民の憩いの場所

として親しまれており、大変人気のある施設となっている。特に夏場は利用者が多くなることから、水の噴出する間隔を通常時の15分から5分に短縮し対応している。日よけの整備については、安全領域の確保や噴水広場のコンセプトであるイベント時の野外ステージとの一体的な利用の観点から難しいと考えている。

土地の積極的な利活用を

結城 義巳 議員



農村集落周辺の開発規制は厳し過ぎないか。規制緩和し住宅建設を認めれば、若者とお年寄りが交わって住む集落ができ理想的である。

農地が食糧生産緑地として大切であり、開発を規制して農地を守るといっているのであれば、耕作放棄地の解消に向け、指導、勧告、代執行をもっと積極的に行うべきではないか。

国道13号東側の開発は商業用地で500平方メートルまで規制されており、営業に支障が出ていると聞く。弾力的な運用はできないか伺いたい。

天童駅西土地区画整理事業は、総事業費46億円超、そのうち約31億円は公費で、優良宅地を造成した。事業完了後22年経っても農地として利用しているのは事業目的に反する。条例等で規制すべきであると思うがどう考えるか。

山本市長 住宅の建設については、優良田園住宅認定制度を活用することにより、農村集落の活性化を図りたい。

耕作放棄地については、農地法の規定により、土地所有者に対して措置命令や代執行ができる。毎年農業委員会で実態調査を行い、指導している。

国道13号東側を含む市街化調整区域については、社会情勢やライフスタイルの変化等に対応する必要があることから、開発許可基準を定めることについて、敷地面積等の要件緩和を働きかけていきたい。

駅西土地区画整理事業地内の農地は10年前より4・5割減少し、宅地化は進んでいる。一方で都市農業振興基本計画が今年5月に閣議決定され、都市農地は都市にあるべきものとするのが明確になり、そのため、都市農地の宅地化を積極的に国に要望することは、国の方針に照らしてもなじまないと考えている。しかし、土地区画整理事業の趣旨に鑑み、農地が宅地化されることは抑制するものではないと考える。

選挙投票率向上の取り組みは

松田 光也 議員



秋葉選挙管理委員長 県全体の平均62・22割に比べると低い状況となっているが、平成24年の衆議院議員総選挙から続いている傾向である。こうした状況を踏まえ、投票率の低い地域に的を絞り、天童市明るい選挙推進協議会を中心に啓発活動に取り組んでいただく。高齢者等の方からは、投票所が遠くなったといった意見があるが、駐車場の確保や投票環境の改善、選挙事務の効率化など一定の効果が



▲高校生の模擬投票の様子

た。平成25年の参議院議員選挙からの投票所削減は特に高齢者から不満の声が多い。今後の投票所増設や区割り部分の変更等について伺う。

今年6月に行われた、第24回参議院議員選挙において、本市の投票率は、山形県の平均投票率を下回った結果になった。

あったと認識している。今後、本市の投票所のあり方を考えていく。

小売店や商店街の活性化を図るために

経営不振や後継者がなく高齢のために経営を諦めている商店も多くなっている。本市の小売業の現状と後継者の現状と育成支援について伺う。

山本市長 本市の商店数は平成3年に1045店あったものが、平成26年には810店に減少している。原因は経営不振によるものや、後継者が不在のため廃業するケースも多数あると考える。このような状況の中、本市では中小企業に必要な人材の確保や育成を図るため、商工会議所に、商工業能力開発アカデミー補助金の支援を行っている。また、ミニ講座を開催し、お客様との交流を通じて顧客を増やすための「まちゼミ」や中心市街地商店街にぎわい創造事業による支援を行っている。今後も各種制度の周知を図り、後継者育成と商店街の活性化を推進していく。

議会のうごき

7月

- 25日 東北市議会議長会理事会・実行活動（議長、局長）
- 28日 最上川上流村山地区改修期成同盟会総会（議長）
- 28日 東根市外二市一町共立衛生処理組合 議会運営委員会・定例会（組合議員）
- 29日 市長要請環境福祉常任委員会（山交バスの運行路線（山交ビル（荒谷・原町線）天童）の廃止について他）
- 29日 市長要請総務教育常任委員会（天童市立中学校に通う生徒の死亡事案に関する話合いの経過と結果について）

8月

- 3日 山形県後期高齢者医療広域連合議会（議長、局長）
- 4日 宮城県丸森町議会行政視察
- 8日 天童夏まつり「花笠パレード」参加（全議員）
- 9日 山形県市議会議長会議員研修会（議員17名）
- 9日 田井橋再架期成同盟会総会（議長他）
- 19日 市長要請各派代表者会（天童市教育委員会委員の任命について）
- 22日 市長要請総務教育常任委員会（クラウドファンディングによる新たな特産品について他）
- 26日 議会運営委員会

9月

- 2日～21日 第3回市議会定例会
- 2日 広報委員会
- 9日 市長要請経済建設常任委員会（産地パワーアップ事業（土地利用型）について他）
- 15日 市長要請全員協議会（子育て支援施設整備事業用地取得に係る損害賠償請求住民訴訟について他）

- 16日 市長要請環境福祉常任委員会（予約制乗合タクシードモスの運行計画について）
- 16日 総務教育常任委員会所管事務調査（市立高樺公民館の寄附の取扱いについて）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 広報委員会
- 27日 議員研修会
- 29日 茨城県坂東市議会行政視察
- 30日 広報委員会

10月

- 2日 天童市総合防災訓練
- 3日 市制施行58周年記念式典
- 3日 宮城県東松島市議会行政視察
- 7日 広報委員会
- 10日 三川町議会行政視察
- 11日～13日 総務教育常任委員会行政視察（東広島市、呉市、浅口市）
- 12日～13日 東北市議会議長会事務局職員研修会
- 12日～14日 経済建設常任委員会行政視察（橋本市、四日市市、小牧市）
- 13日 愛知県清須市議会行政視察
- 17日 議会運営委員会
- 17日 新潟県村上市議会行政視察
- 18日～20日 環境福祉常任委員会行政視察（別府市、大分市、由布市）
- 19日 宮城県松島町議会行政視察
- 21日 栃木県市貝町議会行政視察
- 27日 東北市議会議長会事務局会長会議
- 27日 栃木県上三川町議会行政視察
- 31日 石川県能美市議会行政視察
- 31日 栃木県高根沢町議会行政視察



予算特別委員会

平成28年度一般会計補正予算

18億2728万円を増額補正し

272億8421万2000円に

9月2日の本会議に一般会計17億8080万1000円を含む計8会計の補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。また、9月21日の本会議において、一般会計4647万9000円を追加する補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

ふるさと納税 大感謝祭

委員 ふるさと納税大感謝祭に要する経費6億339万円を計上しているが、その詳細は。

地方創生推進監 第1回が9月10、11日に大阪で開催され、第2回が10月22、23日に横浜で開催される予定である。この2回分の経費として、旅費32万円、ブースやテーブル、いすの借上料92万2000円、合計124万2000円の支出を見込んでいる。

保健衛生費

委員 定期予防接種825万5000円の内容は。

健康課長 平成28年4月1日以降に生まれた乳児が対象となり、B型肝炎ワクチン予防

接種、生後2か月後からの接種で、3回接種となる。今年度の対象は約1200名になる。

ペレットストーブ等 設置支援事業費補助金

委員 補助金額50万円の内訳は。

生活環境課長 今年度から開始した事業で、購入・設置費に対して補助するもので、1件当たり事業費の3分の1、限度額10万円を補助するものとなっている。現在9件の申請があり、冬場に向けて今後とも申請が増えると考えられるため、補正するもの。

将棋のまちPR 促進事業委託料

委員 将棋駒の里の振興で、将棋のまちPR促進事業の具体的なものは。

商工観光課長 マンガ「3月のライオン」とのコラボレーションで更なる誘客を目指す。出版代理店を通じて、スタンプラリーを設けたり、ふるさと納税大感謝祭のブース出展による知名度アップを図る。



飾り駒デザイン作成 業務委託料

委員 飾り駒デザイン作成業務料918万円の内容は。
商工観光課長 ふるさと納税による根付駒の人気に伴い、彫り駒は需要拡大している。それ以外の駒の需要拡大に向けて、新たな駒のデザインを委託するもの。

一般会計補正予算(第2号及び第3号)のあらまし

補正額 18億2728万円

主な内容

(単位：万円)

財政調整基金元金積立金	8億3,222
市有施設整備基金元金積立金	1億
ふるさと納税の推進に要する経費	6億339
戸籍住民基本台帳事務に要する経費	1,554
地域介護・福祉空間整備推進交付金	185
介護保険特別会計繰出金	807
児童扶養手当システム改修業務委託料	119
定期予防接種に要する経費	825
ペレットストーブ等設置支援事業費補助金	50
元気なトップランナー育成プロジェクト事業費補助金	386
産地パワーアップ事業費補助金	2,382
戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金	465
産業立地促進資金貸付金	1億5,660
三市連携観光地域づくり推進行議会負担金	250
将棋のまちPR促進事業委託料	796
飾り駒デザイン作成業務委託料	918
学校給食センターの管理運営に要する経費	65

決算特別委員会

一般会計を含む11件を認定

平成27年度一般会計決算をはじめ、7件の特別会計決算のほか、水道事業会計、公共下水道事業会計、市民病院事業会計の計11件が提出され、決算特別委員会に付託されました。審査の主なものは次のとおりです。



市税の課税状況

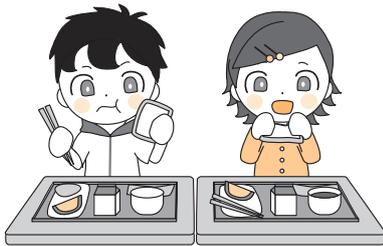
委員 新築の家屋の評価調査を428棟で行っているが、その内、芳賀地区分は何棟か。
税務課長 67棟である。なお、芳賀地区における市民税と固定資産税の徴収額を算出してみると、市民税は個人市民税と法人市民税を合わせて1億円弱、固定資産税は企業が負担する償却資産を含めて約2億8000万円である。

災害発生に備えた備蓄状況

委員 災害発生時に被災者が必要とする食料・毛布の備蓄状況はどのようになっているか。
危機管理室長 27年度はアルファ化米（五目御飯）1500食、備蓄毛布100枚を備蓄した。これにより、備蓄した食品は7000食、毛布は1100枚になり、備蓄目標に到達した。使用可能期間が食品が5年、毛布が10年であるので、今後は毎年更新し、備蓄目標数を確保していく。

食物アレルギーへの対応

委員 食物アレルギーをもつ児童生徒はどれくらいいるのか。また、その対応はどのように行われたのか。
学校給食センター所長 小中学校と合わせ、平成27年度は261名となっており、この内14名に対応食を提供した。また、その対応については、学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づいて、児童生徒の食物アレルギー調査や、希望する保護者との個人面談を実施した。さらに、各小中学校の教職員等を対象に、食物アレルギー・アナフィラキシー対応講習会を開催した。



ごみの減量化・分別推進事業

委員 使用済小型家電リサイクルの回収量は8・5トンとなっているが、内容と処理の仕方は。
生活環境課長 平成27年度は、市内6か所に回収ボックスを設置し、パソコンやプリンターが多く集められている。処分方法は、国の認定事業者と契約し、回収は本市で実施し、回収した使用済小型家電を認定事業者に売却している。平成27年度の売却額は総額で6万5832円である。



▲使用済小型家電回収ボックス

健康づくり推進事業

委員 TendosすこやかMY進事業の内容は。

児童クラブの人数について

委員 放課後児童クラブの児童数は条例で40人以下となるよう努めるとされているが、70人以上のクラブもある現状をどう考えているか。
子育て支援課長 放課後児童クラブの設備上の問題もあるが、解消の方向に向かうべきと考えている、丁寧に各クラブの話聞いていきたい。

農作物被害対策事業

委員 農作物鳥獣害被害対策事業の捕獲状況は。
農林課長 天童東部に出没し、主に山口地区で捕獲した。内訳はイノシシ3頭、サル15匹捕獲。

健康課長 運動を主体とする健康づくりの取り組みをポイント化したマイレージ事業を行った。対象事業を平成26年度46事業から平成27年度78事業にまで拡大。平成26年度213人から平成27年度464人に。裾野を広げて健康づくりにつなげていきたい。



▲天童IC産業団地

企業誘致事業

委員 企業誘致事業の企業訪問・情報収集についての詳細は。

産業立地室長 平成27年度は124件の企業訪問を行い、東京・名古屋で開催された県主催の誘致セミナーにも参加した。また、本市へ立地している関東圏企業との懇談会を東京で開催し、市長、経済部長も参加して、企業からの情報収集を行った。

水道管の耐震化は

委員 老朽化した水道管の更



▲高掬水源地の給水設備

新工事をしているが、耐震化はどの程度進んでいるか。
上下水道課長 毎年5億円程度の建設改良工事をしており、総延長480kmの耐震化率は3割となっている。

高掬水源地の整備は

委員 一昨年の断水を機に、高掬水源地を使うようにすべきとの意見があったが、どう整備したのか。

上下水道課長 万が一の場合高掬浄水場の水を1日5000トポンプアップし、高掬など西部地区に配水できるように整備した。

決算特別委員会 正副委員長を互選

9月2日に開かれた決算特別委員会において、委員長、副委員長が互選されました。

委員長 狩野佳和
副委員長 三宅和広

平成27年度 各会計の決算額

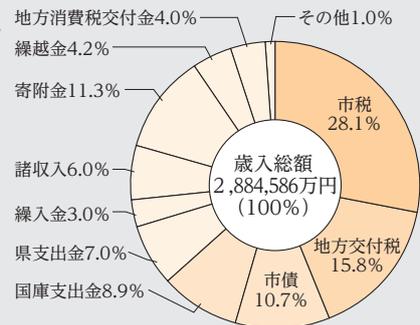
(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	
一般会計	2,884,517	2,707,602	
特別会計	国民健康保険	796,021	780,109
	用地買収	370	91
	財産区	106	49
	介護保険	502,797	480,916
	市民墓地	715	231
	後期高齢者医療	61,226	59,609
	工業団地整備事業	38,633	38,219
計	1,399,868	1,359,224	
合計	4,284,385	4,066,826	

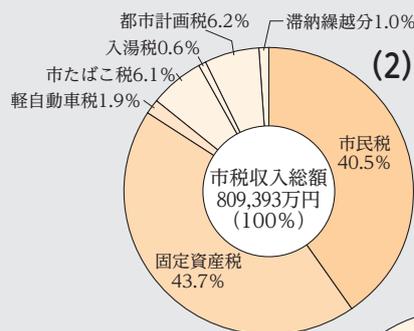
水道事業会計	当年度純利益	20,736万円
市民病院事業会計	当年度純利益	112万円
公共下水道事業会計	当年度純利益	79,092千円

普通会計歳入歳出決算

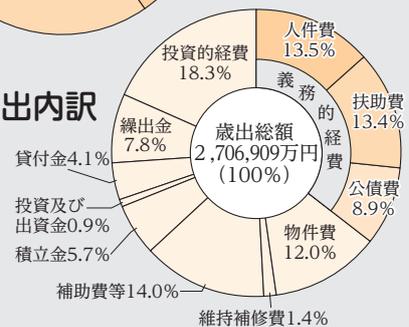
(1) 歳入内訳



(2) 市税内訳



(3) 性質別歳出内訳



※普通会計は、総務省で定める基準により作成される会計で、一般会計のほか、用地買収、市民墓地の各特別会計を合算したものです。

討論

9月21日の本会議において、決算議案2件と請願1件について討論が行われました。

▼認第1号 平成27年度天童市一般会計決算

〈反対〉石垣 昭一議員

予約制乗合タクシーは停留所や目的地を増やしたものの市営バス運行時の利用者と比較し4割の利用。登録者は111人増えたが実利用者は341人と増えていない。

芳賀土地地区画整理事業地内の調整池用地を宅地や公園に変更する事業計画の変更については議会への説明がなく、土地購入者への説明もない。行政として説明責任を果たすべき。事業の進め方について異議があり反対する。



▼認第9号 平成27年度天童市民病院事業会計決算

〈反対〉遠藤 敬知議員

病院本業である医業収支が、2億2500万円の赤字、未収金内の不良債権、繰り入れ金が依然として4億円強と多額、外来患者の減少、企業債の償還のあり方等に異議がある。財政健全化が求められる中、社会保障費は年々増大し自治体そのものが厳しさを増しており、将来に禍根を残さない自治体病院のあり方が問われている。改革のペーパーだけでなく真に改革への本気度が伝わる行動を強く求める。

▼請陳第1号

〈反対〉伊藤 護國議員

地方自治は日本国憲法第八章により、その重要性が保証され地方自治法により二元代表制が制定され、地方の自治は首長、議会がそれぞれ別の選挙で直接選ばれている。議会の権能としては、予算、決算の審査、条例の制定、行

政事務、財産管理、行政統治のチェックである。今回の請願は日本国憲法で保障された当地方議会の権限への越権行為であり許容できない。反対。

〈賛成〉狩野 佳和議員

日本国憲法第16条に請願権がある。『何人も、中略：平穩に請願する権利を有し、何人も、かかる請願をしたためにいかなる差別待遇も受けない。』請願者が誰であれ、請願書は願意を審査するもの。今日の地方自治体は、社会保障費の増大や環境の維持など、地域密着で果たす役割が拡大しているが、国の算定は一律削減のトップランナー方式を導入した。地方財政の充実の請願なので採択すべき。

〈賛成〉結城 義巳議員

小泉内閣の「三位一体の改革」は地方に対する国の関与をなくすため国庫補助・負担金を少なくし、地方交付税を増額する趣旨であったが補助金は大幅に削減されただけ

で、地方交付税はその割に増額されていない。地方交付税の必要な財源を国で確保しないで、地方自治体に「臨時財政対策債」という借金をさせている。これで「地方が主役」「地方の時代」なのか。真の地方財政確立強化を強く要望する。

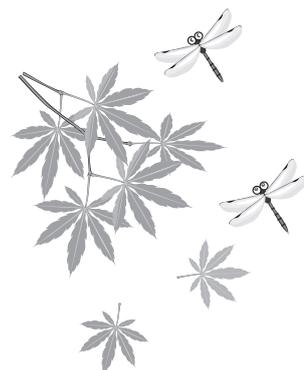
請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
「地方財政の充実・強化を求める請願」について	連合山形地域協議会 議長 細谷 英司	総務教育	不採択 (賛成少数)

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の佐藤通隆氏（三日町）が、平成28年9月30日をもって任期満了になることに伴い、同氏の後任として新たに井上正信氏（駅西）を任命することに同意しました。



提出された議案とその結果

平成28年度第3回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
報第10号	市有施設管理上の瑕疵による事故に伴う損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
認第1号	平成27年度天童市一般会計決算	認定 (賛成多数)
認第2号	平成27年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	平成27年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	平成27年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	平成27年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	平成27年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	平成27年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	平成27年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	平成27年度天童市民病院事業会計決算	認定 (賛成多数)
議第11号	平成27年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 (全会一致)
議第12号	平成27年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 (全会一致)
議第13号	平成28年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第14号	平成28年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第15号	平成28年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第16号	平成28年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	平成28年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	平成28年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第19号	平成28年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第20号	平成28年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第21号	天童インター産業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第22号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第23号	天童市教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)
議第24号	平成28年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第25号	天童市立中学校に通う生徒の死亡事案に係る和解について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	否決 (賛成少数)

議案等に対する議員の賛否一覧表 (賛否が分かれたもの、これ以外は全会一致)

議案	議席番号	氏名																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
		熊澤光史	笹原隆義	三宅和広	遠藤喜昭	佐藤俊弥	渡辺博司	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	山口桂子	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	伊藤護國	水戸保	伊藤和子	鈴木照一	
		清	清	政	清	政	政	清	清	清	清	市	政	清	市	政	政	清	共	清	共	清	共	無
認第1号	平成27年度天童市一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議
認第9号	平成27年度天童市民病院事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請陳第1号	地方財政の充実・強化を求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	議	
委員会提出議案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	議	

※ ○=賛成、×=反対、議=議長(議長は採決に加わらない。)

※ 会派: 清=清新会、政=政和会、市=市民クラブ、共=日本共産党天童市議団、無=会派に属さない議員

平成28年2月と5月に開催された議会報告・意見交換会において、市民の皆様から出された市政に関する意見・要望等については、アンケートに記載されていた項目も含めて、全て市長に文書で伝えました。その中で、各常任委員会で調査した項目については、次のとおりです。次回、11月に開催予定（日程については、議会だより16ページをご覧ください。）の議会報告・意見交換会でも報告します。

市政に関する意見・要望等	調査した結果
<p>側溝の汚泥処理について、他市では行っているが、天童市が県よりも放射能の数値基準を厳しくして中止しているのは何故か、その理由は。</p> <p>市内のどの地点で、どこの数値を計測しているのか。その場所は。また、年に何回調べているのか。大震災の原発事故から5年が経過している。</p> <p>他の地区では数値が低くなっている。どうして天童だけが高いのか。 (長岡公民館)</p>	<p>本市の汚泥除去作業については、毎年、市内13か所の側溝汚泥放射性物質の測定を継続して実施しており、その結果を踏まえ、処分業者への聞き取りによる回収の可否を判断している。</p> <p>国の基準では、8,000ベクレルを超えるものは国が受け入れ、それ以下のものは処分できるとされているが、現実的には1,000ベクレルを超える汚泥を受け入れる処分場が近隣にないことから、処分が困難な状況にある。</p> <p>昨年12月に実施した調査結果では、1,000ベクレルを超える、またはそれに近い数値の箇所が半数を占めている状況にあり、年々数値は下がってきているが、まだ実施に踏み切れない状況にある。</p> <p>なお、側溝の詰まりの解消や路面清掃で発生した土砂等の処分は、連絡をいただければ、市で対応をしているのでご理解をお願いしたい。</p> <p>空間放射線量については、山形県が全市町村の62か所を2か月に1回調査しており、その結果を山形県のホームページで公表しているが、中央公園にて測定している調査結果は、国が定める基準である1マイクロベルトの10分の1以下となっている。また、県内他市と比較しても本市だけ特に高い数値ではない。</p>
<p>水道管の老朽度が分かると災害発生時にも役立つのではないか。自分の家の所の水道管が何年目のものか分かるものが欲しい。北久野本地域は何年目という大雑把なものでもいい。 (天童北部公民館)</p>	<p>公民館には老朽化水道管更新を計画に従って執行していることを伝え、質問者には北久野本地区の敷設年を表示した図を届け、更新計画に沿って年次計画で経年劣化に対応していることを説明している。</p>

議員研修会を開催しました

9月27日に、元全国市議会議長会法制参事を務め、現在、地方議会総合研究所所長 廣瀬和彦氏を講師に招き議員研修会を開催しました。

研修会では、まず、議員の役割と責務についての話がありました。

議員には住民の意見・要望を把握して行政に反映させることが求められています。そのための活動を行うにあたっての注意点が指摘されました。「口利き」であってはいけないこと、議員間討議が必要であること、住民から遠い議員であってはいけないことなどが挙げられました。

執行部との質疑はするが、議員間の議論は交わされているのかとの指摘は思い当たります。天童市議会では議会基本条例で議員会討議について定めていますが、実際には活用されていません。今後、活用していかなければならないと感じました。

ほかに、決算審査の大切さや、議会による事務事業評価の必要性、通年会期の状況、そのメリット・デメリットなどについて述べられました。

また、議会による事務事業評価の実施や通年会期について検討していく必要性を感じました。

今回の研修の成果を今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

研修会では、まず、議員の役割と責務についての話がありました。



市民の声

市民の価値観が多様化すれば、当然、その求めるところも多様化するはずである。

議員、議会が自分たちだけで、それら全てに応えようとすればパンクしてしまう。

投票して終わりでなく、また、願望を伝えて終わりではなく、こうすれば良いのに、こうなれば良いのに、という思いがあるのではあれば、ただの一市民という立場で構わないから、議員活動を積極的にバックアップし、議員、議会と一緒にいって、その思いを実現していく。バックアップとは言っても、そこに無理があっても長続きしない。一人ひとりの余力を集めて大きな力を生み出すことが重要であり、インターネットやスマートフォンなどの文明の利器は、それを

あなたもわたしも議員秘書!?

小野隆紘 (37歳・交り江)

可能にするはずだ。こんな話を政治家を志す友人から熱く語られ、具体例として、千葉県松戸市の議員の活動を教えてもらった。

活動内容については、意見の分かれるところだろう。しかし、インターネットを上手に利用して時間の調整等を行い、不特定多数の市民とともに活動するということスタイルは、私の知らなかった市民と議員の関わり方だった。

もちろん、各市町村で状況は違うので、これがそのまま天童市にも当てはまる方法だとは思わないが、いずれにせよ地元とともに暮らす市議会議員だからこそその関わり方があることを学んだ。

思い立って車で5分。初めて傍聴に行ってきたが、市議会は本当に身近であった。友人の力説する関わり方をなんとなくイメージできた気がした。

12月定例会の日程(予定)

- 12月8日(木) 本会議(初日)
- 12日(月) 本会議(一般質問)
- 13日(火) 本会議(一般質問)
- 15日(木) 常任委員会
- 16日(金) 常任委員会
- 19日(月) 予算特別委員会
- 20日(火) 予算特別委員会
- 22日(木) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、11月30日(水)正午までの予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



Q 市議会はいつ開催されているの？

A 決まっているのは、年4回(3月、6月、9月、12月)開催されます。これを定例会といいます。定例会のほかに、必要がある場合、特定の事案を審議するために臨時議会が開催されます。

天童市議会ギャラリー

8月8日、毎年恒例の天童夏まつり花笠パレードに参加しました。



編集後記

●9月定例会が終わるとともにめっきり秋らしくなりました。あの夏の暑さが恋しく感じられます。
●昨年の市議会議員選挙から早いもので1年。新人議員の私にとっては、アツという間の1年でした。

●ある議会では政務活動費の不正受給が問題になっていきます。本市では、使途の透明性を確保するために、毎年5月1日発行の議会だよりにおいて収支を報告しています。
●季節は実りの秋。本市がこれからも実り多く発展するために、「開かれた市議会」を目指し努めてまいります。

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤 和子 |
| 副委員長 | 狩野 佳和 |
| 委員 | 佐藤 俊弥 |
| 委員 | 遠藤 喜昭 |
| 委員 | 三宅 和広 |
| 委員 | 笹原 隆義 |
| 委員 | 熊澤 光吏 |

議会報告・意見交換会を開催します。

天童市議会では、より良い天童市にしていくため、議会報告・意見交換会を開催します。どの会場でも参加できますので、お気軽にお越しください。

【各市立公民館で午後7時から行います。】

1班

11月7日(月) 寺津
11月8日(火) 津山
11月10日(木) 天童中部

伊藤和子、結城義巳
村山俊雄、佐藤俊弥
熊澤光吏

2班

11月7日(月) 天童南部
11月8日(火) 成生
11月10日(木) 蔵増

伊藤護國、赤塚幸一郎
山口桂子、松田光也
武田正二、渡辺博司

3班

11月7日(月) 荒谷
11月8日(火) 高掬
11月10日(木) 山口※

水戸保、山崎諭
狩野佳和、水戸芳美
三宅和広

※田麦野地区は、山口地区と
合同で市立山口公民館で行います。

4班

11月7日(月) 天童北部
11月8日(火) 長岡
11月10日(木) 干布

石垣昭一、後藤和信
遠藤敬知、遠藤喜昭
笹原隆義

時間 午後7:00～8:30(予定)

内容 ・報告事項/議会で特に議論になった話題などについて
・意見交換のテーマ/天童市(地域)の課題などについて

問合せ 市議会事務局(☎654-1111内線352)